

2024年度「光華EDUALプログラム（リテラシーレベル）」

自己点検・評価報告書

2025年 10月 9日

京都光華女子大学 自己点検評価委員会

1. 点検・評価の実施と結果

本学「光華EDUALプログラム（リテラシーレベル）」は、2021年度の実施内容を文部科学省に申請し、2022年度に「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」として認定を受けた。今般、2024年度の実施状況およびプログラムの達成・進捗状況の点検・評価を行ない、リテラシーレベルのデータサイエンス教育を概ね適切に実施していることを確認した。なお、2023年度入学生からのカリキュラム改編に伴い、下記の通り科目名称を変更し、「データサイエンス入門」を卒業必修とした。

情報リテラシー基礎（2022年度まで）⇒ 情報リテラシー（2023年度以降）

情報リテラシー応用（2022年度まで）⇒ データサイエンス入門（2023年度以降）

これらの変更については、文部科学省に変更届を提出し、適切な手続きを経て実施している。本プログラムにおける位置付けは従来から変更はない。点検・評価の詳細は以下のとおりである。

2. プログラムを構成する科目と履修状況および修了状況

本プログラムは、4つの必修科目と3つの選択科目により構成され、必修4科目を全て修得することを修了要件としている。2024年度の履修状況は表1の通りであった。2023年度よりプログラム必修4科目を全て卒業必修としたため、2023年度入学生以降は、プログラム必修4科目を1年次にほぼ全員が履修している。

2024年度入学生は1年次終了時に90%（291/323）がリテラシーレベルを修了しており、昨年度（2023）入学生の1年時終了時点の84%と比較すると6ポイント増加した。また、2023年度入学生は2年次修了時点で91.2%（322/353）、2022年度入学生は3年次修了時点で85%（315/371）、2021年度入学生は85%（373/400）となった。

なお、2024年度は、光華EDUALプログラム（リテラシーレベル）をスタートした2021年度の入学生が卒業した年度である。2024年度末に卒業した2021年度入学生におけるリテラシーレベル修了率は95%（356/374）であり、学科毎の内訳は、キャリア形成学科86%（70/81）、こども教育学科100%（39/39）、看護学科100%（89/89）、医療福祉学科86%（31/36）、心理学科98%（41/42）、健康栄養学科99%（86/87）であった。

3. 改訂版モデルカリキュラムへの対応

高校「情報I」必修化やChatGPT等の生成AI普及を受け、2024年2月22日にモデルカリキュラムが改訂され、学修内容の見直しが行われた。とくに生成AI活用スキルや倫理的留意点の教育内容が強化されている。

本プログラムは2027年度に再申請する必要があるため、2026年度実施に向けて、2025年度を準備期間として、改訂版モデルカリキュラムへの対応が求められている。生成AI活用については、1年次後期の「アカデミックライティング」において対応を進めているが、本プログラム全体においても、改訂版モデルカリキュラムとの整合を図るとともに、必要な見直しや内容の充実を段階的に進めていく必要がある。

表1 各科目の履修者数と単位修得率

区分	科目名	単位数	配当年次／開講期間	履修者数 (学年毎、総数)				単位 取得 率
				1	2	3・4	合計	
必修	データサイエンス入門 (情報リテラシー応用)	1	1／後期	321	22	0	343	94%
	京都光華の学び	1	1／前期	325	16	26	367	86%
	アカデミックスキル入門	1	1／前期	324	8	5	337	95%
	アカデミックライティング	1	1／後期	321	23	13	357	92%
選択	情報リテラシー	1	1／前期	315	5	0	320	95%
	プログラミング入門	2	1・2／後期	70	3	5	78	95%
	くらしのなかの統計学	2	1・2／後期	43	12	6	61	80%

※2025年3月の在籍者に基づく

以上